

2015  
夏  
vol.13

# やまなみ



写真提供：善光寺

### 【特集記事】

「食」を通じた豊かな暮らしづくり  
～長野県社会福祉事業団における「食」の取組み～

### 【連載記事】

事業所リレートーク  
チャレンジ・アクション  
笑って泣いて、輝いた「象の花子」！  
～水内荘演劇サークル「空」第二回公演～  
つれづれ福祉  
工房ぬくもり×めん屋 鼓舞士 コラボラーメン開発！  
～地域との協働、そして働く喜び～  
平成27年度組織概要／平成27年度事業計画・収支予算書  
平成26年度事業報告／収支決算書／人事異動／プレゼント ほか



今回の善光寺御開帳は北陸新幹線の開通も重なり、過去最高の700万人を超える参拝者が訪れ、本堂の前に建てられた回向柱には最長で約2時間待ち(!)の長い列ができました。

写真提供：JR 東日本長野支社

本年4月、理事長に就任しました。10年ほど前に西駒郷の所長を務めて以来の御縁ですが、これまでの経験を活かし、職責を果たしてまいりますので、よろしくお願ひ致します。

さて、長野県社会福祉事業団は今年で設立50周年を迎えますが、福祉の先駆けとして長年にわたって培ってきたノウハウや専門家集団としての豊富な人材を活用し、措置から契約へと利用本位の社会福祉諸制度の大変革や、民間企業の参入など、事業団を取り巻く社会情勢が大きく変わる中、経営改善に鋭意取り組みながら、日々の業務を誠実に実行することで、長野県の地域福祉に貢献してまいりました。福祉分野への参入が様々な法人においても可能となり、また、社会福祉法人自体の在り方が非課税制度との関連で議論される中、私たち社会福祉法人は、地域における公益的な活動の実践

をより活発に行うとともに、地域住民への積極的な情報開示に努め、地域から一層信頼される団体として社会に貢献していくことが求められております。

近年、いくつかの県では、行政改革の一環として県立施設が当該県の社会福祉事業団に移譲され、事業団により自主自立運営されるなど施設の運営形態は様々ですが、財政的な裏付けと健全な財政運営、そして職員一体となった真摯で心のこもった取組みは、どのような状況であつても常に求められております。私たちの実力にさらに磨きをかけ、行政や諸団体の皆様との交流や意見交換を積極的にを行い、日々生ずる課題を着実に乗り越え、長野県の地域福祉の核的担い手たるべく、一層の努力をしていきたいと思ひます。皆様方のご理解・ご支援をよろしくお願ひします。



長野県社会福祉事業団 理事長 和田 恭良

いぬめい

# 「食」を通じた豊かな暮らしづくり

長野県社会福祉事業団における「食」の取組み

今回の特集記事は「食」をテーマに長野県社会福祉事業団の各事業所が「豊かな暮らしづくり」に向けて実践している取組みを紹介します。



## 長野県社会福祉事業団が考える「食」

「食」は人が生きるために必要不可欠な活動です。

長野県社会福祉事業団では「第2次長期構想」において「信州自然的暮らしの創造」を標榜し、障がい者の豊かな暮らしづくりに向けて支援をしています。この中で「食」に関する項目は多岐にわたり、非常に大きく位置づけられています。

### 長野県社会福祉事業団 第2次長期構想とは

今後の事業団の基本方針や推進のための具体的方策を明らかにするため平成24年11月に策定（計画期間：平成24年4月1日から29年3月31日（5年間））  
 この中で、知的障がい者の暮らしの中に「信州の自然・風土、伝統、生活習慣、食文化、季節行事等」を積極的に取り入れることを明記しました。



### 「信州自然的暮らし」を取り入れた暮らしの場面・イメージ

知的障がいを持つ方にとって、自己実現できる暮らしの場面・イメージは「シンプル」「わかりやすい」「ゆったり」等、スローライフ的言葉やエコの言葉があげられます。

現代の文化的生活を否定するものではありませんが、当事業団では信州という自然・風土や伝統の中、下表のような場面・イメージをもって支援しています。そして、これらの暮らしの場面に「食」は欠かせない活動となっています。（下表黄色部分）

項目	具体的場面
1. 信州の風土を生かした暮らし	自然散策、自転車ツアー、キャンプ、山菜取り、川釣り、昆虫採集、動物飼育等
2. 信州の農的暮らし	花壇・庭木作り、野菜・果樹作り、コメ作り、家畜、日曜大工等（自給、地産地消）
3. 信州の各地域の生活習慣・伝統を取り入れた暮らし	隣組、伝統・地域行事（祭等）参加、季節行事等実施、郷土食摂取、手作り料理（味噌・漬物等）、自給自足的时间

## 2. 信州の農的暮らし

畑での本格的な農作業からプランターでの手軽な野菜栽培まで、それぞれの事業所で多種多様な農的暮らしを実践しています。何より自分たちで栽培した野菜や果物を収穫し、それが食卓に並ぶことが大きな喜びにつながっています。



**[辰野町地域活動支援センター]**  
**[辰野町障がい者就労支援センター] (辰野町)**  
 事業所の横にあるスペースでミニトマトやキュウリなどを育てています。昼食やおやつに皆で食べたり、移動販売車で販売する冷やしラーメンの食材としても活用しています。

## 1. 信州の風土を生かした暮らし

信州にははっきりと四季が訪れ、山野に出かけると春夏秋冬それぞれの季節に応じた旬の食材を享受することができます。



**[みのちグループホームセンター] (長野市)**  
 春。グループホームの仲間同士で近隣の土手に生えてくる「ふきのとう」を採りに出かけます。採ったふきのとうは、世話人さんが天ぷらやふき味噌にして日々の食卓に並びます。



**[ほっとグループホーム伊南] (駒ヶ根市)**  
 秋。ぶどう狩りに出かけます。食べなれたいつものぶどうも屋外で食べると一層おいしく感じます。



**[西駒郷] (駒ヶ根市・宮田村)**  
 広大な敷地を活かし、大豆やサツマイモ等を育てています。サツマイモは利用者のおやつとして焼き芋に。大豆はわーく西駒（※事業所リレートーク、プレゼント参照）の豆腐や焼き菓子の材料として活用しています。

## 3. 信州各地域の生活習慣・伝統を取り入れた暮らし

南北に長い長野県はそれぞれの地域にそれぞれの生活習慣・伝統が息づいています。そして、地域の皆様の協力を得ながら、それらを日々の暮らしに積極的に取り入れています。



**[水内荘] (長野市)**  
 長野県北部では「粉物文化」と言われるほど、「うどん」、「おやき」などの粉物を頻繁に食します。写真の「にらせんべい」もこの地域の代表的な郷土食として利用者にも大人気です。



**[信濃学園] (松本市)**  
 松本市波田地区は「スイカの名産地」として有名です。シーズンには近隣農家の方にスイカをいただきスイカ割りを楽しめます。また新そばの季節にはそば職人さんにご協力いただき、打ちたてのそばを食べるのも大きな楽しみとなっています。

⑤ 完成!!



④ 器で寝かせます。



③ 麹や塩を混ぜて...



② ミンチにします。



① 鍋で大豆を茹でて...



大豆を使った  
加工食品づくり  
味噌づくり  
(みのちグループ  
ホームセンター)



⑤ 完成!!



④ わーく西駒でバック詰め



③ キレイになりました!



② 殻をとって...



① 収穫した大豆の...

(わーく西駒)

# 駒ヶ根高原ふくしセミナーでの取り組み

当事業団が中心となり、平成24年度から県内6団体と実行委員会形式にて開催している「駒ヶ根高原ふくしセミナー」。

このセミナーは「学ぶ・交わる・楽しむ」をコンセプトに当事者参加型のイベントを開催していますが、「障がい者の豊かな暮らしづくり」の具現化に向けて、これまで「食」に関するイベントを一貫して開催してきました。〔表〕

開催回 (月日)	「食」に関するイベント	内 容
第1回 (H24.10.20-21)	創作料理コンテスト	駒天豆腐を使った料理コンテスト 様々な料理が生まれました
第2回 (H25. 7.12-13)	創作スイーツコンテスト	駒天豆腐を使ったスイーツコンテスト 豆腐がスイーツに大変身
第3回 (H26. 6.27-28)	スイーツコンテスト	スポンジケーキをデコレーション 完成品を地元パティシエが講評
第4回 (H27. 6.26-27)	お弁当教室	地元料理人の指導によるお弁当教室 講義・実演の後、お弁当を作りました



山越氏が作る厚焼き卵はムラがなく焦げた部分が一切ありません

第4回目となる今回はこれまでの「コンテスト形式」を改め、長野県食育推進部長（名誉技能師範）で、地元ホテルの総料理長山越信治氏を講師に招き、「行事と食を楽しむ」をテーマに、旬の食材の話や行事食の講義を受け、その内容に沿った弁当を皆で作りました。

山越氏の軽妙な語り口に引き込まれながら、さすがのプロの技に驚いたり感心したり…。参加者もスタッフも一体となり、とても楽しい時間を過ごしました。



郷土食である「五平餅」のほか、そらまめを使った「アオガエル」、ミニトマトを使った「さくらんぼ」を仕上げました

参加者からは自分で作ったお弁当のあまりの（良い）出来栄えに「施設に帰ってみんなに見せたい！」「食べたくない!!」といったコメントも。「食」を通じ、今後の「暮らし」を豊かにする可能性を充分に感じたイベントになりました。



「五平餅」づくり。食べたことはあっても作るのは初めてです



※「第4回 駒ヶ根高原ふくしセミナー」は「平成27年度長野県地域発元気づくり支援金」を活用して開催しています。

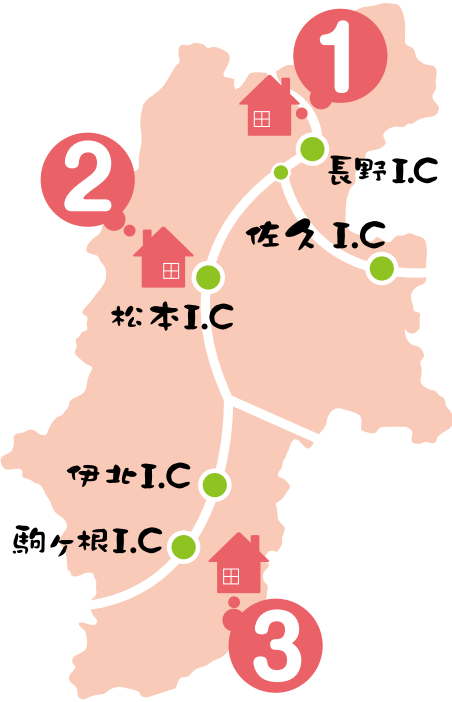
## おわりに

冒頭に「食」は人が生きるために必要不可欠な活動です」と記載しましたが、「食」は生命の維持を目的とした生物の根源的な行為というだけでなく、我々人間にとって日々の暮らしを豊かにする「趣味」や「生きがい」にもつながる楽しいものです。そして「食」を通じて四季を感じたり、農業を楽しんだり、生活習慣・伝統を学ぶ中で地域の方々と交流することもできます。

ことに福祉事業所を利用する方々にとって、「食」は毎日の暮らしに彩りを加え、時には行事食などによって季節や人生の節目を感じる機会にもなります。

このような視点に基づき、事業団ではこれからも各事業所において「豊かな暮らしづくり」の具現化に向けたサービスを提供していきます。

(中村)



## ① 水内荘

～地域との連携やつながりを大切にして50余年～



水内荘の歴史が深まるにつれて利用者も年を重ね、今までとは違った支援体制が必要となってきました。地域と水内荘の関わり方も形を変えてきましたが、地域の皆様には以前と変わらぬご理解・ご支援をいただき、水内荘の利用者・職員も地域住民の一人として、日々豊かな暮らしを送っています。 (東)

※昭和40年事業団に経営移管

水内荘は、県内で初めて、国内でも6番目の知的障害者入所施設として昭和37年に開設\*され、平成24年には水内荘創立50周年を迎えました。

以前は援農（農家のお手伝い）や町民運動会への参加、そして今では地域と合同で行う泉水祭りを中心に地域との連携やつながりを大切にしています。



## ② 信濃学園

～県で唯一の福祉型障害児入所施設として～

信濃学園は昭和26年に開設され64年、現在地に移転してからは31年という長い歴史があります。私ども事業団が指定管理者として運営し始めてからは、今年で5年目になります。

県の時代と事業団が指定管理を始めてからの違いの一つ挙げるとすれば、経費や支援における柔軟性ではないでしょうか。利用者さんの外出や社会体験費の導入ができ、一段と幅広い社会体験を提供することにつながっていますし、それを可能にしたのは、職員の支援体制だと思われます。県の時代の良い点と民間手法を併せ持たせた、より良い施設運営を職員一同進めていきたいと思えます。 (平林)



## ③ わーく西駒

～やりがいのある仕事で経済的な自立を～



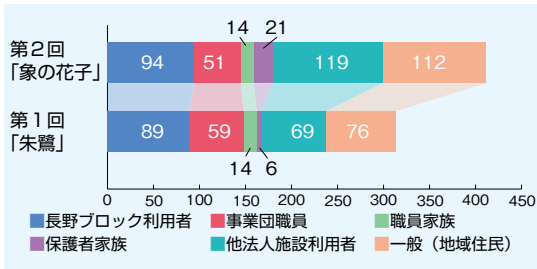
わーく西駒は、平成23年4月から就労継続支援A型事業所としてスタートし、今年で節目となる5年目を迎えました。現在、9名の利用者と雇用契約を結び地元信州産大豆（ナカセンナリ）を使用した豆腐・どら焼き・焼き菓子など食品製造の「信州まめ匠」と、宿泊・食事提供や入所施設のキーパー補助業務の「西駒会館」に分かれて、事業を展開しています。

信州まめ匠では、昨年度から豆乳・おからを使用した新製品の開発にも力を入れ、これまでに4種の焼き菓子の商品化につなげることができました。なかでも、一番人気のスコーンは豆乳を使用したことでしっとりとした口どけの良い製品に仕上がりがオススメです。

事業が安定してきた反面、販売・製造にかかる負担が増えてきていることも課題であり、今後新たな雇用創出を行いながら利用者がやりがいを持って仕事に取り組むことができる、地域に根ざした愛される事業所を目指していきます。 (保坂)



【図1】観劇者数



**多かった他施設利用者、一般（地域住民）の皆さん**

広報の効果もあり、今回の観劇者は他法人施設利用者と一般（地域住民）の皆さんが大きく増加し、3日間で411人と前回は約100人上回りました。【図1】

また、3日目公演（20日（土））には、子供を連れた家族の姿が多くみられました。

なお、他法人施設利用者が増加した理由は、平日公演を2日（前回は1日）に増やしたことが起因していると考えられます。



主人公（飼育係）と花子



花子の曲芸大会



花子を守るゲンと 婦人会・子供たち



先輩の出征



学校（国語の時間）



婦人会消防訓練

観劇された皆さんからは好意的評価を頂き、利用者にとって輝いた時間となるとともに、交流の輪も広がりました。

笑って泣いて、輝いた！「象の花子」！

水内荘演劇サークル 「空」 第二回公演

一昨年の第1回公演「朱鷺」から1年半。計74回の練習を積み、キャスト・スタッフ総勢35人（うち利用者21人（GH18、入所2、在宅1））で6月18日から20日の3日間、水内荘体育館にて「象の花子」を上演しました。

この公演は、内容が第二次世界大戦中のため、軍服をはじめ衣装・小道具揃えに多くの人の協力を頂きました。

また、広報はポスター・チラシ印刷のほか、多くの報道機関にご協力いただき、その結果、前回は100人程度上回るお客さんとなりました。

こんな風に広報しました

広報活動は【表2】のとおり行いました。第1回公演との違いは、町内の防災無線を活用のほか、公演5日前、地方紙（信濃毎日新聞）に記事を掲載していただいたことです。また、全国紙地方版（朝日新聞）やタブロイド紙（週刊長野）にも記事が掲載されました。こうした新聞掲載は、参加メンバーの「やるんだ！」という自覚・意欲の喚起にもつながりました。

【表2】 広報活動実績

広 報	内 容	
ポスターの掲載	計63枚掲載	
	施設・学校	25枚
	町内	18枚
	事業団事業所（長野ブロック以外）	11枚
	事業団事業所（長野ブロック）	9枚
チラシの配布	計2,540枚配布	
	施設・学校	550枚
	町内（新聞折込含）	1,340枚
	事業団事業所（長野ブロック以外）	200枚
	事業団事業所（長野ブロック）	450枚
報道機関への広報依頼	TV関係 4社 新聞 5社	
町内防災無線	1日2回	1週間放送



【表1】 借り物

照明	衣装	小道具	大道具	借り物
3団体	4個人	1団体、7個人	オルガン、学校机・鞆、鏡、雨	借用先
3団体	4個人	1団体、7個人	戸、背負子、古時計等	借用先
3団体	4個人	1団体、7個人	軍服、軍靴、羽織袴等	借用先
3団体	4個人	1団体、7個人	スホット、トライタック等	借用先

結び

アンケート結果から、観客の皆さんは年齢50代以上で豊野町内の人が多かったようです。感想は「大変良かった」「よかった」との声が多く、同程度に「面白かった」「泣けた」との回答がありました。自由回答では、「利用者の皆さんの頑張りに感激し、泣かされました」「次回に期待します」が多く、「空」の活動の主目的である「うまくしゃべれなくても、約束どおり動けなくても、その人が

舞台の上で今を生きること作品となり、スポットライトを浴びることができるとの「喜び」が具現化されたように思われました。

演劇は、演ずる側と観る側のキャッチボールです。キャストの高齢利用者も、毎回大勢の観劇者の「笑い」や「拍手」に乗せられ、充実した感動的時間となりました。今後、練習方法の改善や充実に加え、今回の広報活動等により増加した観客動員のノウハウを磨き、更なる増加を図っていきます。

（宮之本）

# 工房ぬくもり×めん屋 鼓舞士

## コラボラーメン開発！

～地域との協働、そして働く喜びへ～

### コラボラーメン開発の経過

当事業団が運営する就労継続支援B型事業所「辰野町障がい者就労支援センター」「工房ぬくもり」は、同センターが製造販売している生麺のブランド力向上と利用者の工賃アップを目指し、地元で人気のラーメン店「めん屋 鼓舞士」に協力を依頼し、試行錯誤を繰り返しながら共同でコラボラーメンを開発しました。

### 利用者と一緒に開発！

「めん屋 鼓舞士」が普段提供しているスープはこってり系のため、工房ぬくもりの細打ちちぢれ麺とはあまり相性が良くありません。そこで工房ぬくもりの生麺に相性の良いスープを一から考案していただきました。利用者も実際に店舗に赴き、試作品の試食を行う中で、スープの種類やトッピングについて意見を交わし、少しずつ完成へ近づけていきました。

### 工房ぬくもり 本舞工場ラーメン完成！

試食会を通じてスープは塩味に、そして利用者のアイデアでチャージャー麺ではなく鶏をトッピングしたラーメンが平成27年4月に完成しました。

生麺の販売先で今回のコラボラーメンをPRしたところ、「是非お店に行ってみよう」といったコメントをいただいたほか、実際に食べていただいた方からは「食べたよ。美味しかった！」と声を掛けていただく

こともありました。また、お店を訪れたお客様から応援の手紙をいただく機会もあり、働いている利用者の大きな励みとなっています。

製麺だけでなく、自分自身が開発

に関わったラーメンが地域のお店で提供されていることで、仕事に誇りややりがいを持つことができ、休日には家族と食べに行ったり、お店の方と交流したりしています。

今後も地域での活動の場を広げ、働く喜びを感じていただければと思います。  
(瀧澤)



# 完成!

### 店舗情報

## めん屋 鼓舞士

長野県伊那市西町5070  
(春日公園付近)  
Tel. 0265-76-5449



営業時間  
昼 11:00～14:00  
夜 17:00～20:30  
(季節によって変動あり)  
定休日 木曜日

### コメント

めん屋 鼓舞士 店長 唐澤さん  
(写真左から2番目)

子どもからお年寄りまで楽しめる味。麺とスープの相性が良いです。利用者の頑張りや以前から知っていたので協力したいと思っていましたが、新しい味と一緒に作ってもらい逆に感謝しています。



長野日報取材にて

# つれづれ福祉

徒然なるままに：他の法人等とのネットワークの中から見える「福祉」を、そこはかとなく書き綴ります。

## 【長野ブロック】

- ① みのちそう 水内荘**  
 ・施設入所支援事業（定員40人）、生活介護事業（定員68人）  
 ・短期入所事業（併設型6人）、相談支援事業（一般・特定）
- ② みのちグループホームセンター**  
 ・共同生活援助事業（14ホーム 定員71人）
- ③ 長野圏域障害者総合支援センター歩楽里**  
 ・地域生活支援事業、相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）  
 ・居宅介護事業（身体介護・家事援助・通院介助・行動援護）ほか
- ④ やぐもびより 八雲日和**  
 ・生活介護事業（定員25人）、就労継続支援B型事業（定員25人）
- ⑤ こはるびより 小春日和**  
 ・就労移行支援事業（定員12人）、就労継続支援B型事業（定員10人）
- ⑥ 長野市地域活動支援センターこぶし**  
 ・地域活動支援センター事業（定員15人）

ブロック長 小宮山 紀道（水内荘所長）

## 【障がい者福祉センターブロック】

- ⑩ 長野県障がい者福祉センター「サンアップル」**  
 ・障がい者のスポーツ・文化活動支援事業
- ⑳ 障がい者スポーツ支援センター長野「サンスポートながの」**  
 ・サンアップルの北信サテライト事業所
- ㉑ 障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポート駒ヶ根」**  
 ・サンアップルの南信サテライト事業所
- ㉒ 障がい者スポーツ支援センター松本「サンスポートまつもと」**  
 ・サンアップルの中信サテライト事業所
- ㉓ 障がい者スポーツ支援センター佐久「サンスポート佐久」**  
 ・サンアップルの東信サテライト事業所

ブロック長 関口 一道（障がい者福祉センター所長）

## 【松本ブロック】

- ⑦ 信濃学園**  
 ・福祉型障害児施設入所事業（定員30人）  
 ・短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業  
 ・施設入所支援事業・生活介護事業  
 ※18歳以上対象、障害児入所事業の定員内で実施
- ⑧ 松本あさひ学園**  
 ・情緒障害児短期治療施設（入所30人、通所5人）
- ⑨ 松本ひよこ**  
 ・生活介護事業（定員21人）  
 ・就労継続支援B型事業（定員18人）、相談支援事業（一般・特定・障害児）  
 ・共同生活援助事業（4ホーム 定員23人）  
 ・重度障害者等包括支援事業（定員5人 ※生活介護事業、共同生活援助事業に含む）

ブロック長 佐藤 靖（信濃学園所長）  
 副ブロック長 小島 健一（松本あさひ学園治療支援課長）

## ⑭ 法人本部(事務局)

- ・事業団が経営する各事業所の管理運営における調整  
 ・介護福祉士等修学資金貸付事業ほか

## 【上伊那北部ブロック】

- ⑩ ほっとグループホーム伊北**  
 ・共同生活援助事業（16ホーム 定員81人）、相談支援事業（特定）
- ⑪ ほっとグループホーム伊南**  
 ・共同生活援助事業（10ホーム 定員53人）
- ⑫ ほっと居宅**  
 ・居宅介護事業（身体介助・家事援助・通院介助）、行動援護、地域生活支援事業
- ⑬ 伊那ゆいま〜る**  
 ・生活介護事業（定員15人）、就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）
- ⑭ ほっとワークス・みのわ**  
 ・就労支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）
- ⑮ 辰野町障がい者就労支援センター「工房ぬくもり」**  
 ・就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）
- ⑯ 辰野町地域活動支援センター**  
 ・地域活動支援センター事業（定員20人）

ブロック長 滝 茂樹（ほっと居宅所長）  
 副ブロック長 北沢 和明（ほっと伊南所長）

## 【上伊那南部ブロック】

- ⑪ にしこまごう 西駒郷**（駒ヶ根支援事業部、宮田支援事業部）  
 ・施設入所支援事業（定員140人）、短期入所事業（空床型）  
 ・生活介護事業（定員165人）、自立訓練（生活訓練）事業（定員10人）  
 ・就労継続支援A型事業（定員20人）  
 ・就労継続支援B型事業（定員54人）、就労移行支援事業（定員6人）  
 相談支援事業（一般・特定）、自活訓練事業

ブロック長 滝 茂樹（西駒郷所長）

## ⑯ 上伊那圏域障害者総合支援センター「きりりあ」

- ・相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、障がい児等療育支援事業  
 ・発達障がいサポートマネージャー整備事業、障害者就業・生活支援センター事業（ほか）

※兼務のある職員の所属・職名は主たる事業所を掲載



# 平成27年度 事業計画・収支予算書

## 【管理部門】

### 1 事業の拡大・改善（施設整備）

施設整備等により、事業の拡大・改善を図ります。

事業所等	内 容	事業所等	内 容
ア みのちグループホーム センター	・「コーポやまなみ」スプリンクラー設置	ウ 松本ひよこ	・「日中活動事業所」及び「グループホーム」の設置検討
イ 八雲日和	・「従たる事業所」の立ち上げ ・「就労支援継続支援A型事業所」の検討	エ ほっとワークス・みのわ	・南箕輪村への移転・開設（H29）に向けた土地取得
		オ ほっとグループホーム伊北	・「北割ハイツ（仮称）」の立ち上げ他
		カ ほっとグループホーム伊南	・「竹村ハイツ」の廃止

### 2 人材育成に向けた取組み

「研修要綱」の見直し及び「職員派遣研修助成金要綱」の策定により、これまでの研修体系を一部見直して各種研修（全体・階層・専門・派遣・実務研究発表等）を開催するとともに、新たな人材育成制度（キャリアパス）について検討します。

なお、今年度は「長野県社会福祉事業団実務論文集発行要綱」に基づき、事業団全職員から論文を募集します。（選考は平成28年度）

### 3 「長野県社会福祉事業団設立50周年事業」の実施

長野県社会福祉事業団設立50周年を記念して、平成27年11月13日（金）に長野市内で記念式典を開催するほか、年度内に50周年記念誌を発行します。

また50周年にあわせて「ゆるキャラ」を制作し、記念式典にてお披露目します。

## 【支援部門】

### 1 権利擁護の充実

「虐待防止対応規程」に基づき、各事業所単位又はブロック単位で「虐待防止委員会」を設置するほか、身体拘束ガイドライン等の有効活用の徹底、権利擁護に関わる職員の研修会やセミナー等への参加促進を図ります。

### 2 セーフティネット機能の強化

各事業所において施設入所支援や短期入所事業、放課後等デイサービス事業等、セーフティネット機能の強化・充実を図ります。

### 3 余暇（スポーツ（運動）・文化）活動支援体制の整備

長野県障がい者福祉センター「サンアップル」を中心に障がい者の余暇（スポーツ（運動）・文化）活動を支援するほか、「第4回 駒ヶ根高原ふくしセミナー」の開催や「グループホーム調査・検証事業」の実施により、障がい者の「豊かな暮らしづくり」を支援します。

## 平成27年度 長野県社会福祉事業団収支予算書

（単位：千円）

科 目		本年度予算額	前年度予算額	増 減	科 目		本年度予算額	前年度予算額	増 減		
事業活動による収支	収 入	児童福祉事業収入	198,677	195,552	3,125	施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	65,020	39,260	25,760	
		就労支援事業収入	100,395	94,826	5,569		収入	設備資金借入金収入	0	71,287	△ 71,287
		障害福祉サービス等事業収入	2,272,157	2,352,706	△ 80,549		支出	施設整備等収入計(4)	65,020	110,547	△ 45,527
		その他の事業収入	302,835	322,015	△ 19,180		設備資金借入金元金償還支出	22,518	20,030	2,488	
		経常経費寄附金収入	250	100	150		固定資産取得支出	147,176	252,654	△ 105,478	
		受取利息配当金収入	1,288	1,532	△ 244		施設整備等支出計(5)	169,694	272,684	△ 102,990	
	その他の収入	22,539	24,263	△ 1,724	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 104,674	△ 162,137	57,463			
	事業活動収入計(1)	2,898,141	2,990,994	△ 92,853	その他の活動による収支	収 入	積立資産取崩収入	211,274	180,512	30,762	
	人件費支出	2,036,243	1,988,529	47,714		収入	その他の活動収入計(7)	211,274	180,512	30,762	
	事業費支出	519,795	527,049	△ 7,254		支 出	積立資産支出	37,295	36,379	916	
	事務費支出	320,591	329,747	△ 9,156		支出	その他の活動支出計(8)	37,295	36,379	916	
	就労支援事業支出	100,395	94,826	5,569		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	173,979	144,133	29,846		
	支払利息支出	2,549	2,634	△ 85		予備費支出(10)	0	0	0		
その他の支出	1,445	1,119	326	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 13,572	29,086	△ 42,658			
事業活動支出計(2)	2,981,018	2,943,904	37,114	前期末支払資金残高(12)	392,985	504,697	△ 111,712				
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 82,877	47,090	△ 129,967	当期末支払資金残高(11)+(12)	379,413	533,783	△ 154,370				

## 1 職員の給与ベースアップ

社会情勢の変動や福祉人材の確保・定着に向け、全職員の基本給を0.5%アップするとともに、役職加算一律1万円アップしました。

## 2 「長野県西駒郷」および「長野県障がい者福祉センター」の指定管理者再指定

県立2施設の指定管理について応募し、平成26年度から平成30年度まで(5年間)の指定管理者として再指定され、提案した事業計画に基づきサービスを提供しました。

## 3 事業の拡大・改善等

施設整備等により、事業の拡大・改善等を実施しました。

事業所等	内容
ア みのちグループホームセンター	・他法人からGH1棟(7人)の運営を継承
イ 八雲日和	・高齢利用者の日中活動支援の従たる事業所(10人)を開設
ウ 小春日和	・就労継続支援B型事業(10人)を開始
エ ほっとグループホーム伊南	・重度・自閉症対応型ホーム2棟(12人)を開設
オ 西駒郷	・あすなろ支援課の廃止 ・ひまわり支援課の全室個室化工事 ・通所者用の食堂の増設

## 4 工賃アップへの取組み

就労系事業所(9事業所)では工賃アップに向けて販路拡大や新商品の開発等に努めました。

「わーく西駒」(就労継続支援A型事業)では平均工賃7万円を超える(昨年度比約5,000円増)など、大半の事業所で平成25年度の実績を上回ることができました。

## 5 「信州のオール・ブリュット展」開催

第3回駒ヶ根高原ふくしセミナーの特別企画として、高原セミナー実行委員会主催により平成26年6月27日から8月5日までの間、駒ヶ根高原美術館にて「信州のオール・ブリュット展」を開催しました。

期間中1,025人に鑑賞いただくとともに、平成26年7月19日に開催したギャラリートークには約50人にご参加いただきました。



ほのぼのハウス(八雲日和)



さんさん・とことこ(ほっとグループホーム伊南)



ひまわり支援課個室化工事(西駒郷)



とうふ作り(わーく西駒)



「信州のオール・ブリュット展」ギャラリートークの様子

# 平成26年度 収支決算書 (法人合算)

## 資金収支計算書

(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

	科目	予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)
事業活動による収入	児童福祉事業収入	199,186,000	199,073,714	112,286
	就労支援事業収入	103,874,000	102,243,265	1,630,735
	障害福祉サービス等事業収入	2,370,235,000	2,350,086,289	20,148,711
	その他の事業収入	322,015,000	320,257,360	1,757,640
	経常経費寄附金収入	278,000	1,356,301	△ 1,078,301
	受取利息配当金収入	1,646,000	1,836,556	△ 190,556
	その他の収入	26,498,000	29,849,559	△ 3,351,559
	事業活動収入計(1)	3,023,732,000	3,004,702,044	19,029,956
	人件費支出	1,988,701,000	1,920,687,994	68,013,006
	事業費支出	464,479,000	435,798,579	28,680,421
事務費支出	342,917,000	315,861,484	27,055,516	
就労支援事業費支出	103,582,000	101,593,484	1,988,516	
支払利息支出	2,122,000	2,068,609	53,391	
その他の支出	1,464,000	1,408,498	55,502	
事業活動支出計(2)	2,903,265,000	2,777,418,648	125,846,352	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	120,467,000	227,283,396	△ 106,816,396	
施設整備等に要する収入	施設整備等補助金収入	46,347,000	46,347,000	0
	施設整備等寄附金収入	2,520,000	2,516,400	3,600
	設備資金借入金収入	89,358,000	89,097,453	260,547
	施設整備等収入計(4)	138,225,000	137,960,853	264,147
その他の活動による収入	設備資金借入金元金償還支出	18,722,000	18,677,477	44,523
	固定資産取得支出	318,693,000	243,510,527	75,182,473
	施設整備等支出計(5)	337,415,000	262,188,004	75,226,996
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 199,190,000	△ 124,227,151	△ 74,962,849
その他の活動による支出	長期貸付回収収入	8,415,000	8,398,210	16,790
	積立資産取崩収入	189,582,000	102,093,349	87,488,651
	その他の活動収入計(7)	197,997,000	110,491,559	87,505,441
	長期貸付金支出	63,076,000	62,583,600	492,400
その他の活動による支出	積立資産支出	77,184,000	74,431,692	2,752,308
	その他の活動支出計(8)	140,260,000	137,015,292	3,244,708
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	57,737,000	△ 26,523,733	84,260,733
	予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 20,986,000	76,532,512	△ 97,518,512	
前期末支払資金残高(12)	708,403,265	393,057,673	315,345,592	
当期末支払資金残高(11)+(12)	687,417,265	469,590,185	217,827,080	

## 事業活動収支計算書

(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

	科目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	児童福祉事業収益	199,073,714	204,502,795	△ 5,429,081
	就労支援事業収益	102,243,265	88,295,153	13,948,112
	障害福祉サービス等事業収益	2,350,086,289	2,299,336,167	50,749,122
	その他の事業収益	320,257,360	304,270,901	15,986,459
	指定管理料収益	0	993,657,746	△ 993,657,746
	経常経費寄附金収益	1,356,301	2,331,936	△ 975,635
	その他の収益	851,619	2,166,235	△ 1,314,616
	サービス活動収益計(1)	2,973,867,548	3,894,560,933	△ 920,693,385
	人件費	1,937,057,372	1,910,612,790	26,444,582
	事業費	435,798,579	435,699,312	99,267
事務費	315,861,484	353,119,175	△ 37,257,691	
就労支援事業費用	101,361,329	87,835,686	13,525,643	
減価償却費	130,933,505	129,262,572	1,670,933	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 48,189,581	△ 47,877,081	△ 312,500	
その他の費用	120,000	120,000	0	
サービス活動費用計(2)	2,872,942,688	2,868,772,454	4,170,234	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	100,924,860	1,025,788,479	△ 924,863,619	
サービス活動外	受取利息配当金収益	1,836,556	2,737,392	△ 900,836
	その他のサービス活動外収益	28,997,940	26,513,794	2,484,146
	サービス活動外収益計(4)	30,834,496	29,251,176	1,583,320
	支払利息	2,068,609	2,281,434	△ 212,825
特別増減の部	その他のサービス活動外費用	1,288,498	1,386,300	△ 97,802
	サービス活動外費用計(5)	3,357,107	3,667,734	△ 310,627
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	27,477,389	25,583,442	1,893,947
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	128,402,249	1,051,371,921	△ 922,969,672
特別増減の部	施設整備等補助金収益	46,347,000	12,535,000	33,812,000
	施設整備等寄附金収益	2,516,400	3,447,000	△ 930,600
	固定資産売却損・処分損	9,543	1	9,542
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 12,415,718	0	△ 12,415,718
特別増減の部	国庫補助金等特別積立金積立額	58,762,718	12,535,000	46,227,718
	特別費用計(9)	46,356,543	12,535,001	33,821,542
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	2,506,857	3,446,999	△ 940,142
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	130,909,106	1,054,818,920	△ 923,909,814
繰越活動増減差	前期繰越活動増減差額(12)	1,537,082,592	1,606,707,057	△ 69,624,465
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,667,991,698	2,661,525,977	△ 993,534,279
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	91,498,870	87,973,720	3,525,150
	その他の積立金積立額(16)	47,467,835	216,449,762	△ 168,981,927
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,712,022,733	2,533,049,935	△ 821,027,202

## 貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

資産の部			負債の部				
科目名	当年度末	前年度末	科目名	当年度末	前年度末		
流動資産	760,200,031	874,364,164	△ 114,164,133	流動負債	289,334,862	523,331,011	△ 233,996,149
現金預金	322,759,352	518,382,124	△ 195,622,772	短期運営資金借入金	37,000,000	45,000,000	△ 8,000,000
事業未収金	426,509,503	340,056,494	86,453,009	事業未払金	229,350,814	469,268,521	△ 239,917,707
未収金	0	12,009	△ 12,009	預り金	13,845,627	2,275,742	11,569,885
貯蔵品	142,705	142,970	△ 265	職員預り金	7,290,015	4,881,155	2,408,860
原材料	1,274,984	1,042,829	232,155	前受金	1,844,259	1,871,493	△ 27,234
立替金	8,522,137	12,657,513	△ 4,135,376	仮受金	4,147	34,100	△ 29,953
前払金	529,370	760,600	△ 231,230				
前払費用	361,980	294,730	67,250				
仮払金	100,000	1,014,895	△ 914,895				
固定資産	3,493,366,623	3,355,120,021	138,246,602	固定負債	689,740,212	583,795,468	85,944,744
基本財産	959,868,598	873,600,483	86,268,115	設備資金借入金	225,467,508	155,047,532	70,419,976
土地	35,015,898	35,015,898	0	退職給付引当金	351,694,166	333,756,130	17,938,036
建物	909,852,700	823,584,585	86,268,115	全事協退職年金共済引当金	92,578,538	94,991,806	△ 2,413,268
定期預金	4,500	4,500	0				
投資有価証券	14,995,500	14,995,500	0				
その他の固定資産	2,533,498,025	2,481,519,538	51,978,487				
建物	19,377,426	22,786,025	△ 3,408,599				
構築物	9,326,881	8,586,757	740,124				
機械及び装置	22,080,905	17,420,827	4,660,078				
車輛運搬具	30,097,776	39,178,335	△ 9,080,559				
器具及び備品	31,267,529	34,217,248	△ 2,949,719				
建設仮勘定	4,911,200	0	4,911,200				
権利	2,712,986	2,683,542	29,444				
ソフトウェア	688,889	1,578,310	△ 889,421				
長期貸付金	573,896,811	519,711,421	54,185,390	基本金	49,400,000	49,400,000	0
退職給付引当資産	351,694,166	333,756,130	17,938,036	国庫補助金等特別積立金	505,683,792	507,526,363	△ 1,842,571
貸付原資積立資産	309,308,692	358,712,527	△ 49,403,835	その他の積立金	1,027,385,065	1,071,416,100	△ 44,031,035
人件費積立資産	239,337,504	253,337,504	△ 14,000,000	貸付原資積立金	309,308,692	358,712,527	△ 49,403,835
施設整備等積立資産	476,209,226	457,604,026	18,605,200	人件費積立金	239,337,504	253,337,504	△ 14,000,000
全事協退職年金共済預け金資産	92,578,538	94,991,806	△ 2,413,268	施設整備等積立金	476,209,226	457,604,026	18,605,200
長期前払費用	528,260	647,260	△ 119,000	工賃変動額積立金	1,344,496	576,896	767,600
その他の固定資産	366,941,593	334,545,777	32,395,816	設備等整備積立金	1,185,147	1,185,147	0
工賃変動額積立資産	1,344,496	576,896	767,600	次期繰越活動増減差額	1,712,022,733	1,539,392,189	172,630,544
設備等整備積立資産	1,185,147	1,185,147	0	(うち当期活動増減差額)	130,909,106	61,161,174	69,747,932
資産の部合計	4,253,566,654	4,229,484,185	24,082,469	純資産の部合計	3,294,491,580	3,167,734,652	126,756,928
				負債及び純資産の部合計	4,253,566,654	4,274,861,131	△ 21,294,477

# 人事異動

## 新規採用

(平成27年4月1日付)

**歩案里** 支援員／小林和弥  
**信濃学園** 支援員／役田あやの(支援課)、支援員  
 ／和田野々花(支援課)

**ほっとワークス・みのわ** 支援員／北嶋晃誠

**西駒郷** 支援員／小林いつき(ひまわり支援課)、  
 支援員／小山千秋(ひまわり支援課)、支援員／高  
 橋智広(駒ヶ根日中支援課)、支援員／武井信一  
 (まご支援課)

**障がい者福祉センター** 主事／中山良彦(総務  
 課、看護師／春原洋子(総務課)

## 事業所間異動等

(平成27年4月1日付)

**事務局** 次長兼総務課長／善哉健次(小春日和所  
 長)、企画課長／濱田琢也(西駒郷係長)

**水内荘** 支援課長／佐藤ゆり子(障がい者福祉セ  
 ンター係長)、支援員／石川彬(西駒郷支援員)、支  
 援員／高橋直貴(西駒郷支援員)

**みのちグループホームセンター** 主任支援員／富田  
 久未子(兼)、支援員／浅井美美子(西駒郷支援員)

**八雲日和** 所長／板倉吉子(水内荘支援課長兼養  
 士)

**小春日和** 所長／板倉吉子(兼)

**長野市地域活動支援センター こぶし** 所長／伊藤  
 敏(八雲日和所長(再))

**信濃学園** 支援第二係長／池田裕恒(西駒郷係  
 長)、支援員／増田友里恵(西駒郷支援員)

**松本あさひ学園** 支援員／宮澤愛(西駒郷支援員)  
**松本ひよこ** 所長／矢花尚利(西駒郷駒ヶ根支  
 援事業部長(再))、係長／藤原健(西駒郷係長)

**ほっとグループホーム伊北** 所長／小野沢真(信濃  
 学園専門幹係長)、支援員／森愛弓(西駒郷支  
 援員)

**ほっとグループホーム伊南** 所長／北澤和明(ほ  
 ととグループホーム伊北所長)、支援員／小河千折  
 (西駒郷支援員)

**ほっとほろ** 所長／滝茂樹(兼(再))

**伊那ゆいまゝる** 専門幹／小池忠昭(松本ひよこ所  
 長)

**辰野町障がい者就労支援センター** 所長／落合秀幸  
 (辰野町障がい者就労支援センター主任支援員)

**辰野町地域活動支援センター** 所長／落合秀幸(辰  
 野町地域活動支援センター主任支援員)

**西駒郷** 所長／滝茂樹(再)、総務課長／市瀬元彦

(西駒郷ひまわり支援課長、主任支援員／落合尚子  
 (ほっとグループホーム伊北主任支援員)、地域移行  
 推進課長／北澤和明(ほっとグループホーム伊北所  
 長)、駒ヶ根支援事業部長／小澤聖(西駒郷駒ヶ根  
 日中支援課長)、ひまわり支援課長／尾野成彦(西  
 駒郷あすなろ支援課長)、係長／濱田由美(西駒郷  
 主任支援員)、支援員／吉原一善(ほっとワーク  
 ス・みのわ支援員)、駒ヶ根日中支援課長／藤原香  
 澄(西駒郷地域移行推進課長)、わく西駒郷長／  
 藤原香澄(兼)、まご支援課長／宮下敦志(西駒  
 郷総務課長)、係長／今村秀枝(松本あさひ学園女  
 子ユニット係長)

**上伊那圏域障がい者総合支援センター** 所長／片桐  
 美登(再)、専門幹／北嶋昭(上伊那圏域障がい者  
 支援センター専門員)

**派遣期間終了**

(平成27年3月31日付)

**信濃学園** 専門員／増澤晴彦(伊那保健福祉事務所  
 )、専門員／伊藤千枝(松本児童相談所)、専門  
 員／河田千亜紀(松本児童相談所)、主任支援員  
 ／寺島栄水(松本保健福祉事務所)、支援員／原  
 田信一(松本児童相談所)

**退職**

(平成27年3月31日付)

**信濃学園** 支援員／二澤良忠  
**伊那ゆいまゝる** 支援員／片山智憲  
**辰野町障がい者就労支援センター** 所長／埋橋行雄  
**辰野町地域活動支援センター** 所長／埋橋行雄  
**西駒郷** 所長／原雅章、看護師／小牧さおり、支  
 援員／宮澤和夫、支援員／小池謙  
**上伊那圏域障がい者総合支援センター** 専門幹／埋  
 橋行雄  
**障がい者支援センター** 指導員／光吉直哉  
**西駒郷** 支援員／松崎高明  
**松本あさひ学園** 主事兼支援員／金井美奈  
**ほっとグループホーム伊北** 支援員／森愛弓  
**西駒郷** 支援員／有賀和久

(兼) 他職との兼務職員  
 (再) 退職後、再雇用職員等

## プレゼント



「わーく西駒」  
 支援員  
**保坂 明**からのメッセージ

### ◆自家製豆乳使用の手作り焼き菓子◆



信州まめ匠では、地元  
 信州産の大豆を100%使用  
 してできた豆乳を使用して  
 豆腐、どら焼きを製造  
 していますが、昨年度か  
 ら新製品として新たに4  
 種の焼き菓子が仲間入り  
 しました。

今回は、その中からマドレーヌ・フィナンシェ・スコーン  
 の入った焼き菓子セットをプレゼント致します。  
 自家製豆乳入りの風味豊かな焼き菓子を是非ご賞味下さい。

事業団日より「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等  
 について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のう  
 えメールまたは郵便はがきにて法人本部(事務局)までお寄せ下  
 さい。

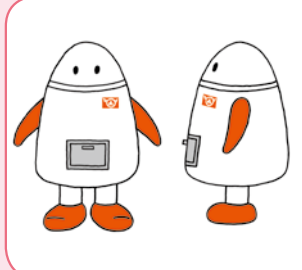
11月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で、「わーく西  
 駒」の「自家製豆乳使用の手作り焼き菓子」を5名の方にプレ  
 ザントいたします。

なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。  
 (プレゼントの発送は12月を予定しています)

## 50th Anniversary ありがとう ゆるキャラの名称等募集!

事業団50周年を記念して、長野県社会福祉事業団のゆるキャラを制作します!  
 ①名称・②デザイン(色やオプション)・③アイデア(機能・活用方法)を募集し  
 ますので、皆様ふるってご応募下さい。(応募方法等の詳細は事業団ホームペ  
 ージをご覧ください)

[平成27年度 長野県地域発元気づくり支援金活用事業]



- ・50年後の未来からやってきたゆるキャラ型ロボット
- ・外見はシンプルだが中身は超精密。県内19事業所の情報をWifi接続で常にキャッチし、理事長に経営アドバイスをしている。
- ・お腹のポケットは事業所と4次元で繋がっており、福祉施設で作られたどら焼きやうどん等をイベントで配ることができる。
- ・さらに50年後の長野県社会福祉事業団100周年記念式典の際に中から「何か」が出てくるらしい。

今号の表紙で紹介しました善光寺御開帳の回向柱。この柱に触るとご利益が得られるということですが、過去に使用された回向柱が善光寺境内西側に建てられていることをご存知ですか。  
 この一角は森閑とした空気が流れ、徐々に土に還って小さくなっていく回向柱に静かな感動と、時の流れの早さ、儂さを感じます。  
 前回の善光寺御開帳の年に創刊した事業団広報紙「やまなみ」は今号で13号を迎えました。  
 そして長野県社会福祉事業団は今年で設立50周年。過去の歴史を振り返りつつも、新たな50年に向けて一歩一歩、着実に前進したいものです。(中村)

## 編集後記

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人  
**長野県社会福祉事業団**

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5F  
 tel: 026-228-0337 fax: 026-228-0310  
 URL: http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/